

会議録

審 議 会 名	令和５年度 第２回杉戸町地域福祉計画推進協議会
開 催 日 時	令和５年 10 月 27 日（金）14 時 00 分～15 時 30 分
開 催 場 所	杉戸町役場 第二庁舎 2 階 第１・２会議室
会 議 の 議 題	（１）地域福祉に関する町民アンケート調査結果の報告 （２）役場各課による次期計画に係る取組内容の検討結果の報告 （３）社協による次期計画に係る取組内容の検討結果の報告 （４）その他
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開（公開の場合傍聴者数 0 人）
	（非公開の場合理由）
出席委員氏名	長岡朝子委員、藤倉正委員、金森孝之委員、大久保佐知子委員（副会長）、坂巻東洋委員、間宮佐委員（会長）、笹川景子委員 末永さやか委員、濱田明美委員

発言者	審議の概要
事務局	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
	(1) 地域福祉に関する町民アンケート調査結果の報告 (2) 役場各課による次期計画に係る取組内容の検討結果の報告 (3) 社協による次期計画に係る取組内容の検討結果の報告 (4) その他 (「(1) 地域福祉に関する町民アンケート調査結果の報告」及び「(2) 役場各課による次期計画に係る取組内容の検討結果の報告」、「(3) 社協による次期計画に係る取組内容の検討結果の報告」について事務局・町社協より説明があった。)
委員	委員からの質問・意見等は以下の通り。 今回の福祉計画については、これで最終検討しているということか。意見によって検討されるということか。
事務局	まずは今回のアンケート調査についてご報告しました。このあと庁舎内における作業部会、検討委員会での会議を経て、素案を決定し、素案を用いて、次回12月中旬頃の協議を進めていき、最終的には議会に報告しながら、年明けにはパブリックコメントを実施する予定である。今回は素案を示していないため、次回の会議で素案を基に協議していただきたいと思います。今回はその前段として、皆様に示したという認識でいただきたいと考えています。
委員	基本目標1について、連携は凄く大事だという話の中で意見を反映していただいたが、各課で色々な項目の中に連携という言葉はあるものの、具体的な部分が明瞭ではないと感じる。現場での調整が始まっていると思うが、実際に業務の中で連携に困難を感じている部分が見受けられます。子育て支援の部分、保健師の部分、妊娠期からの相談で、障がい福祉との関連だと、お子さんに障がいがあったため福祉に繋がった、それでお終いではなく、その後のご家族の状況や変化について、現場では

	行っているが全体の中での方向性が一致していないので、自分の役割に囚われてしまい、中々連携しづらい場面があると感じています。それぞれの分野で連携の記載はあるが、全体としてどのような連携なのか、町としてどのように取り組むのか、方向性が示されるといいと思います。資料2の4-1、バリアフリーのまちづくりの推進について、この中ではハード面のバリアフリーについて記載があるが、私はソフト面のバリアフリーがとても大事だと思っています。障がいのある方、コミュニケーションに課題がある方に関しては、しっかりとコミュニケーションをとりながら話を聞くことが大事だと感じています。ソフト面のバリアフリーについて実際にはどうなのでしょう。杉戸町でも来年度から手話言語条例が制定されますが、日本の言語として認められる状況なので、例えば聴覚障がいの方が相談に来たときに、しっかりとコミュニケーションがとれるかどうか、町政全体の中で大事にしていくという考えの中でソフト面でのバリアフリーという観点が必要だと思いますので検討していただきたいと思っています。
事務局	今回の地域福祉計画につきましては、各課における上位計画としてこの地域福祉計画が位置付けられているので、バリアフリーの考え方については、庁内関係機関におけるハード面のバリアフリーに関するものとなっています。ソフト面については、障がいの方の具体的な計画の中に落とし込んで推進し、計画に位置付けた方がいいと考えています。手話言語条例については、現時点では来年度制定という動きはございません。目標としては、令和7年度以降に制定する形で、令和6年度はそのための準備として進めていきたいと考えています。連携については、組織横断的に各課における様々な部分の連携を図りながら進めておりますが、さらに深い保護者、児童との関わりについては、具体的な手法は計画にそぐわない部分もありますので、各課においてしっかりと進めていくことと認識しております。
委員	福祉課が凄く頑張っていることは理解しています。町全体で障がいのある方に対してどう取り組むのか、認識にずれがあると思っています。福祉課だけの問題ではない、という認識があったので意見をさせていただきました。

委員	資料３の４－３について、高齢者の方からは、旅行会、食事会等、３～４か月に１回何かあると嬉しいな、とお声をいただいていた。今はコロナで仕方ないと思いますが、削除となると友愛訪問しか残らなくなるということでしょうか。
会長	シニアサロンや他でも毎月２回サロン活動を行っているので、そういうものに参加していただき、交流を図っていただきたいと考えております。
委員	また、第３次計画はいつぐらいに出来る予定なのでしょうか。
事務局	第２次が今年度で終了となり、第３次計画は来年度からになります。
委員	友愛訪問以外にも、シニアサロン以外にも今後検討していただけるのでしょうか。
会長	社協で言えば、現在は月２回杉戸ピアサロンのイベントがありますが、回数を増やすことを検討しています。
委員	西地区なので、車を運転する人は行けますが、そうでない人は杉戸ピアまで足を運ぶには遠く、中々利用が難しい。楽しい計画の検討をよろしくお願いします。
アイアールエス	<u>（４）その他</u> （「第３次杉戸町地域福祉計画 新計画書構成（案）」について（株）アイアールエスより説明があった。）
	資料４をご覧ください。今し方タイムリーにご質問をいただきましたが、第２次計画の後継として、来年度から始まる第３次地域福祉計画を現在作成していますが、新しい計画書の目次案、構成の骨組みをお示ししているのが資料４となります。町長のご挨拶が入り、その後目次、全体として６章立てになっています。このうちの第６章は付帯附属資料なので、用語集や皆様方の設置要綱、委員の名前、計画策定に至るまでの会議経過の記載、が第６章の附属資料となります。具体的な中身は第１章～第５章までとなります。

第1章は計画の概要となります。地域福祉とは、第3次計画策定の背景と趣旨、計画の法的な正確や位置付けの話、計画期間、計画策定の体制となり、第1章はプロフィールを書かせていただく章となります。それを受けて第2章は、町の地域福祉を巡る現状と課題として、杉戸町の人口の変化、世帯人員の変化、世帯の小規模化、子ども関係、少子高齢化傾向等、地域福祉を巡る概況を記載しています。現計画の団体や地域福祉関係者の活動内容を抜粋して記載しており、地域の人的資源も概況の一つとして示しています。町民意識調査結果は膨大な量となっているので、その中から特に重要なものをさらに抜き出して記載し、第2章町民意識調査結果から見える現状と課題の部分に挿入しています。統計から見える現状と課題、アンケート結果から見える現状と課題、現行計画の進捗状況から出てくる現状と課題をふまえて、町の次期計画に向けての地域福祉の課題を総括する内容を挿入します。

第1章、第2章を受けまして、新しい計画が形になりますが、第3章は計画の基本的な考え方です。キャッチフレーズのような計画の基本理念、計画の体系図の柱になる基本目標、それらを俯瞰的に見て計画の展開を示した樹形図になります。計画の重点取り組みも入っていましたが、これについては事務局内の打ち合わせにおいて、これ自体が全て重要だということで、あえて重点取り組みを設けない方向で今のところは考えております。第3章の4の記事は無くなる方向で修正させていただきます。第4章が一番計画の中心になる部分、計画の具体的な内容となり、さらに詳細な樹形図を入れた後、地域福祉を進める基盤づくり、支え合い・助け合いの人づくり、地域のつながりづくり、安心・安全な暮らしの仕組みづくりとして、仮置きでこのような内容となっています。この下に、住民や法人、民間にやってもらいたいこと、出来ること、町行政としての事業の取り組み、社協の事業の取り組みについて、それぞれのテーマに対しての取り組みを並べた具体的な中身になると思います。最後に第5章は、計画の推進と進行管理となっています。推進の体制及び進行管理の仕組みを記載していきます。

以上が第3次計画の新計画書構成（案）の報告となります。よろしくお願いします。

意見等なし

4 閉会